



春の訪れ
今年も春の到来にあわせ、お内裏様とお雛様が双葉苑に来院、入所者様を訪問しました。今年もいい春になるでしょう。



ふたばよもやま話 (第二五四回)

～合馬のタケノコ～

日本最古の歴史書である「古事記」「日本書紀」、また文学の分野でも「竹取物語」など、竹は古くから日本人の生活と密接な関係のある植物で、若竹であるタケノコの食用、建築用、工芸用、楽器用、鑑賞、がん具用まで幅広く利用されてきた。

最盛期には一日で一メートル以上も伸びる旺盛な生命力、また真っすぐに伸びるその形から古くより日本人の最も好きな植物と言える。小倉南区には、日本最大級の竹林を持つ合馬がある。

合馬のタケノコは北九州を代表する食のブランド品で全国的に有名である。

ここ、合馬には合馬竹林公園があり、約3haの面積で、国産と中国産の竹・笹類の約150種類を見学できる見本園などがある。見本園には散策路が設けてあり、3月～4月にかけて、しなやかに伸びた竹とその香りを楽しみながら散策することができる。



タケノコをイメージした三角屋根のシルエット。八角形の部屋が合体した館内には、ビデオやパネルで地元合馬の紹介、竹製品(生活用品・工芸品)、竹針の蓄音機、竹のフィラメントを使ったエンジン式電球などを展示しているほか、竹のがん具を使った遊びやたけのこパソコンクイズなどが体験できるなど、「竹」について子供から大人まで楽しめる。

職員紹介コーナー

平成26年双葉苑に入職、勤続12年を迎えた瀧川さんの紹介です。

瀧川さんはいつも心優しく、「自分の親の様に親身になって接する」をモットーに利用者様一人一人を大切にしながら日々のケアにあたっています。

瀧川さんの一番の特徴は「表現力に優れている」ことです。施設内の行事ではいつも仮装をして、得意分野である歌で利用者様に喜んでいただいています。

自慢の咽喉で歌声を披露し、場を盛り上げてくれる瀧川さんは、双葉苑になくてはならない存在です。



入所様の安全を護り、職員の質を高めるため、研修を常に行い、問題が発生した時はその都度、対処できる体制を整えています。



今月の予定 (3月)

- ひな祭り
3日(月)
- 石橋医院回診 (毎月曜日)
3日、10日、17日、24日、31日
- ますゆき皮膚科回診
6日(木)
- 小倉北歯科回診 (毎木曜日)
6日、13日、27日
- ビューティヘルパー
11日(火)
- 生花
26日(水)

【編集雑記】▼ロシアとウクライナの戦争も、アメリカの新しい大統領の仲介で平和が訪れる事が期待されたが、どうも怪しくなってきた。裏には大きな利権が渦巻いているようだ。もともと国際紛争は利益が絡むことが多く、そのためにいつも犠牲になるのは人民である▼1月23日、縁あってお付き合いさせていただいている沖縄県南大東村にお邪魔してきた。南大東島は東京都八丈島よりの移民が開拓した島で、125年の歴史がある。その記念式典にご案内を受け、訪問させていただいた▼沖縄本島の東、太平洋に浮かぶ南大東島は、元々ロシアの軍艦ポロジノ号が発見した島であり、その故事により「ポロジノアイランド」という愛称がある▼無人島が発見した国の領土となるのが普通であり、通例からするとロシア領になってもおかしくはない。明治政府はいち早く測量して日本領に編入、晴れて日本領土となった▼詳細な記録が残ってなく、ロシア側の関係者がのんびりしていたのか、日本側が優れていたのか、いまと違っては不明だが、領土問題を武力ではなく外交手段によって解決した珍しい例である▼沖縄はかつて琉球王国として中国や東南アジアの国々と平和的外交を通して独立を守ってきた。日本の床の間には刀や勇壮な武者人形が飾られることが多いが、沖縄の民家の床の間には三線が飾られている▼基地問題などで揺れる沖縄であるが、その歴史には興味をそそられる。その沖縄の中に在って、大東諸島は独特の文化を育み、他の離島とは全く違う歴史がある▼観光立県として有名な沖縄県であり、温暖な気候、青い海、異国を感じることでできる料理など魅力は多く、多くの観光客が訪れている▼沖縄を訪れた際、もちろん楽しんでいただきたい。しかしその中において、少しでも沖縄の歴史、さらには南大東島に思いを馳せてほしいものだ。